

能面にみる日本の伝統工芸と仮面文化

実施日：平成27年11月18日～30日 於：スロベニア、クロアチア、オーストリア、ルーマニア

■ 派遣専門家



北澤 秀太
北澤木彫所

能面師／伝統工芸師

東京都葛飾区から認定を受けた伝統工芸師であり、人間国宝の野村万蔵家の能面制作に携わる気鋭の能面師。伝統的な能面制作に加え、2011年サンフランシスコで上映されたシェイクスピアの能「リア王」で使用された面を彫り上げ絶賛を浴びるなど、海外での評価も高い注目の能面師です。

■ 事業概要



【スロベニア】●11月19日 朝スロベニア国営放送『おはよう』に生出演し、今回のイベントを告知。昼から、スロベニア民俗学博物館にて講演、夜はリュブリアナ大学文学部にて能面の特徴や道具などについて講演を行いました。

●11月20日 クーレントという伝統的な祭りで有名なプトウイ市へ。そこで祭りに使う仮面を製作している工房を訪問し職人と交流をしました。

●11月21日 スロベニア国立オペラ劇場を訪問。舞台美術スタッフと技術的な意見交換をし、オペラで使用した能面についても説明をしました。

【クロアチア】●11月23日 朝クロアチア国営放送『おはようクロアチア』に生出演。昼から、ザグレブ市学校博物館にて講演。夜は、ザグレブ市民俗学博物館にて講演。ザグレブ大学民族学部シュクルピッチ＝アレンピヤピッチ教授によるクロアチア及びヨーロッパに於ける仮面文化の説明も含めた講演も行い、立ち見が出るほどの盛況でした。夜は井出大使主催晚餐会にて、博物館館長・ザグレブ大学教授と意見交換を行いました。

【オーストリア】●11月24日 オーストリア応用博物館にて講演。会場の席を上回る一般市民の方に日本の木彫文化に直接触れて頂くことができました。

●11月25日 ウィーン大学日本語学科にて講演。合わせて、同大学、日本語学科・演劇学科の学生を対象に、狂言面を使った即興劇のワークショップを行いました。

【ルーマニア】●11月26日 ルーマニア国営ラジオのインタビュー。その後バレスト農民博物館にて、日本研究の第一人者の民俗学者・アンジェラ・ホンドゥル教授から伝統工芸・仮面文化に関し紹介の後、講演、意見交換を行いました。

●11月27日 石井大使主催夕食会にてシビウ市長・シビウ民俗学博物館副館長と意見交換を行いました。

●11月28日 シビウ民俗学博物館附属野外博物館を視察。シビウ民俗学博物館にて講演を行いました。

■ 実施結果

今回の事業は、国営放送の生放送等、現地メディアでも数多く取材で取り上げられました。また今回の事業をきっかけに、能舞台への関心が高まり、欧州三大演劇祭に数えられるシビウ国際演劇祭へ大阪の能楽堂の参加が内定しました。また、先方からの強い希望でスロベニアでは具体的な展示会の計画が進み、他国からも講演出演依頼があるなど、現地との交流の深化につながるものとなりました。